

令和2年度 東京都に対する要望事項について

- 1 大会開催について（オリンピック・パラリンピック準備局）
- 2 東京2020大会のレガシーを未来に引き継ぐまちづくりについて（オリンピック・パラリンピック準備局）

（オリンピック・パラリンピック推進特別委員会）

東京都予算に対する要望事項比較表

(オリンピック・パラリンピック推進特別委員会)

平成31年度要望事項	令和2年度要望事項（案）
<p>オリンピック・パラリンピックは、スポーツを通じて万国の人々に夢と希望と感動を与える「恒久平和の祭典」である。</p> <p><u>2年後</u>に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、江東区には多数の競技会場が配置されることとなっている。それに伴い、外国人観光客等のおもてなし、交通輸送問題、インフラ整備等、多岐にわたる開催に向けた取り組みや大会後のレガシー形成に向けた取り組みが求められている。</p> <p>本区は、東京大会の主要な開催地のひとつとして、大会の成功に向けて東京都や大会組織委員会と十二分に連携していく所存である。</p> <p>については、万全な<u>開催準備</u>と、レガシー形成を含む本区特有のまちづくりを確実にするため、下記事項について強く要望する。</p> <p>1 大会開催について</p> <p>(1) 競技会場、練習会場の運営等に伴う区施設の使用や観客及び関係者輸送等、<u>大会開催に伴い</u>区民生活や地域経済等に影響を与える可能性がある場合には、<u>その範囲や期間等について</u>早期に情報提供を行うとともに、必要な調整をすること。特に観客及び関係者輸送については、多くの競技会場等が配置される本区においては、交通規制や大量の観客移動等により、物流等の経済活動、ごみ・資源の収集等の清掃事業や通勤・通学等の区民の日常生活等に大きな影響を及ぼすことが想定される。大会期間中の都市活動との両立を図るため、<u>輸送計画の詳細について</u>早期に明らかにするとともに、<u>区をはじめとする関係機関との綿密な協議及び調整を行うこと</u>。また、東京都及び大会組織委員会が責任をもって、地域住民・企業等への説明を実施すること。</p>	<p>オリンピック・パラリンピックは、スポーツを通じて万国の人々に夢と希望と感動を与える「恒久平和の祭典」である。</p> <p><u>来年</u>に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、江東区には多数の競技会場が配置されることとなっている。それに伴い、外国人観光客等のおもてなし、交通輸送問題、インフラ整備等、多岐にわたる開催に向けた取り組みや大会後のレガシー形成に向けた取り組みが求められている。</p> <p>本区は、東京大会の主要な開催地のひとつとして、大会の成功に向けて東京都や大会組織委員会と十二分に連携していく所存である。</p> <p>については、万全な<u>大会運営</u>と、レガシー形成を含む本区特有のまちづくりを確実にするため、下記事項について強く要望する。</p> <p>1 大会開催について</p> <p>(1) 競技会場、練習会場の運営等に伴う区施設の使用や観客及び関係者輸送等、<u>大会の開催は</u>区民生活や地域経済等に影響を与える可能性がある。特に観客及び関係者輸送については、多くの競技会場等が配置される本区においては、交通規制や大量の観客移動等により、物流等の経済活動、ごみ・資源の収集等の清掃事業、<u>通勤・通学をはじめとした</u>区民の日常生活等に大きな影響を及ぼすことが想定される。大会期間中の都市活動との両立を図るため、<u>交通需要マネジメントをはじめとした交通量緩和策を確実に実施するとともに</u>ラストマイルにおける警備・誘導を徹底し、決して<u>周辺地域の安全・安心を脅かすことのないよう</u>万全の対策を講じること。さらに、<u>競技会場整備においては、工事の安全確保はもとより、周辺の交通安全対策を徹底すること</u>。また、<u>区をはじめとする関係機関との綿密な協議及び調整を行い、</u>東京都及び大会組織委員会が責任をもって地域住民・企業等への説明を実施すること。</p>

東京都予算に対する要望事項比較表

(オリンピック・パラリンピック推進特別委員会)

平成31年度要望事項	令和2年度要望事項（案）
<p>(2) <u>区内の競技会場の整備により、臨海部を中心に通過交通が増加している。今後も有明北地区における民間開発、豊洲市場の開場など、更なる交通需要の増加が見込まれることから、区民の安全・安心を脅かすことのないよう、工事の安全確保、交通安全対策、工事現場周辺の環境保全等を強化するとともに、施工者間の調整及び指導を徹底すること。</u></p> <p>(3) <u>東京都と区が一体となって気運の醸成を図るため、「Tokyo Tokyo FESTIVAL」をはじめとした「東京文化プログラム」に、区が実施する「文化プログラム」を位置づけるなど、相互に連携、協力できる体制を構築するとともに、区が実施する文化プログラムへの経費の助成等、支援を充実すること。</u></p> <p>(4) <u>大会時のボランティアについて、参加を希望する区民を区内の施設等に配置するなど、多くの区民が参加できる体制とすること。また、ボランティアに限らず、各競技の開会、大会関連イベント等に、区内小中学校のブラスバンド等を活用するなど、こどもたちが参加できる枠組みを検討すること。</u></p> <p>(5) <u>聖火リレーについて、多くの区民が大会開催を実感できるようなランナーやルートを選定等と検討するとともに、リレールートにおけるイベント等、区内の小中学生をはじめとした区民が参加することができる枠組みを構築すること。</u></p> <p>(6) <u>暑熱環境の緩和や来訪者へのおもてなしのため、公共交通機関、建築物・公共的施設のユニバーサルデザイン化、総合的なサイン計画、フリーWi-Fi及び観客輸送ルートを中心とした緑化やクールスポットの整備を図ること。</u></p>	<p>(2) <u>東京都と区が一体となって気運の醸成を図るため、「Tokyo Tokyo FESTIVAL」をはじめとした「東京文化プログラム」に、区が実施する「文化プログラム」を位置づけるなど、相互に連携、協力できる体制を構築するとともに、区が実施する文化プログラムへの経費の助成等、支援を<u>活用しやすいもの</u>とすること。</u></p> <p>(3) <u>大会時のボランティアについて、<u>区独自ボランティア「江東サポーターズ」を活用する</u>など、多くの区民が参加できる体制とすること。また、ボランティアに限らず、各競技の開会、大会関連イベント等に、区内小中学校のブラスバンド等を活用するなど、こどもたちが参加できる枠組みを検討すること。</u></p> <p>(4) <u>聖火リレーについて、多くの区民が大会開催を実感できるよう、<u>リレールートでのイベント等</u>において、区内の小中学生をはじめとした区民が参加することができる枠組みを構築すること。</u></p> <p>(5) <u>暑熱環境の緩和や来訪者へのおもてなしのため、公共交通機関、建築物・公共的施設、<u>道路</u>などのユニバーサルデザイン化、総合的なサイン計画、フリーWi-Fi及び観客輸送ルートを中心とした緑化やクールスポットの整備を図ること。</u></p>

東京都予算に対する要望事項比較表

(オリンピック・パラリンピック推進特別委員会)

平成31年度要望事項	令和2年度要望事項（案）
<p>(7) <u>大会開催期間中の、選手、観客、大会関係者等の安全確保のため、猛暑、台風、地震などの自然災害及びテロや感染症等について十分な対策を講じるとともに、区民の危機管理に関わる重要な事項については、本区への情報提供や役割分担等、適宜必要な調整を行うこと。</u></p> <p>2 <u>東京 2020 大会のレガシーを未来に引き継ぐまちづくりについて</u> <u>都が東京 2020 大会のレガシーとして示した「臨海スポーツゾーン」を含む新たなまちづくりの構想については、これまでの開発フレームや土地利用計画の見直しも想定されることから、地域住民の生活環境の変化等、本区の将来に大きな影響が見込まれる。こうしたことから、新たなまちづくりについては、様々な行政需要も想定した計画とするとともに、その検討や整備にあたっては、地元住民・企業等の意見に十分配慮し、区と協議を行い、東京都、地域住民・企業、区が連携して取り組む体制を構築すること。</u> <u>また、まちづくりの計画を進めるにあたっては以下の実現に努めること。</u></p> <p>(1) <u>水辺の魅力を観光に活かすため、水上ステーションや水上タクシーの棧橋等を整備するとともに、民間事業者にも開放した係留施設を整備し、舟運利用や水陸両用バス路線の誘致を図ること。</u></p> <p>(2) <u>本区木場の木材業の伝統や我が国の木造建築の技術を世界へ発信し、特色ある景観形成を推進するため、当該エリアにおける施設、工作物などについて、木材の積極的な利用を図ること。</u></p>	<p>(6) <u>大会開催期間中の、選手、観客、大会関係者等の安全確保のため、猛暑、台風、豪雨、地震などの自然災害及びテロや感染症等について十分な対策を講じるとともに、区民の危機管理に関わる重要な事項については、本区への情報提供や役割分担等、適宜必要な調整を行うこと。</u></p> <p>2 <u>東京 2020 大会のレガシーを未来に引き継ぐまちづくりについて</u> <u>都が東京 2020 大会のレガシーとして示した「臨海スポーツゾーン」を含む新たなまちづくりの構想については、現在都において検討されている「有明レガシーエリアのまちづくり」及び「東京ベイエリアビジョン」の中で、具体的なまちづくり構想の策定が見込まれているところである。こうした新たなまちづくりについては、これまで要望してきた事項及び将来の行政需要も想定した計画とするとともに、その検討や整備にあたっては、地元住民・企業等の意見に十分配慮し、区と協議を行い、東京都、地域住民・企業、区が連携して取り組む体制を構築すること。</u> <u>また、まちづくりの計画を進めるにあたっては以下の実現に努めること。</u></p> <p>(1) <u>レガシーのまちづくりにおいて想定される施設については、臨海部の賑わいに寄与するとともに、本区の伝統産業である木材の利用や緑化を引き続き図るなど、将来にわたって恒久的なレガシーとなり得る施設とすること。加えて、舟運の利用など水辺の活用も引き続き図ること。また、周辺も含めた安定した環境を確保するため、地域の住環境や学校、子育て支援施設等の公共施設需要に配慮した開発計画とすること。</u></p>

東京都予算に対する要望事項比較表

(オリンピック・パラリンピック推進特別委員会)

平成31年度要望事項	令和2年度要望事項（案）
<p>(3) <u>緑の中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現と来訪者へのおもてなしのため、施設の屋上や壁面、歩道等の緑化を図ること。また、補助制度の創設など、官民一体となった「みどりのまちなみづくり」に向けた施策を強力に推進すること。</u></p> <p>(4) <u>コミュニティサイクルは、臨海スポーツゾーンの回遊性の向上等の観点からも有効に活用できることから、その本格実施に向け、更なる法的規制緩和を図るとともに、競技会場へのサイクルポート設置を検討すること。合わせて、自転車専用道路の設置を推進し、民間事業者も対象とした施設整備・運営補助の拡充を図ること。</u></p> <p>(5) <u>競技会場に商業施設を導入し、まちの賑わいをもたらすよう配慮すること。また、当該エリア内の賑わい機能の導入、デジタルサイネージの設置・活用によるアクセシビリティの強化を図ること。</u></p> <p>(6) <u>広域的な防災機能の強化のため、競技会場に防災備蓄倉庫や独立型電源の配備、かまどベンチ、マンホールトイレの設置、一時滞在施設機能の付与及び災害用備品の配備等を行うとともに、帰宅困難者対策や備蓄計画等について、区と情報を共有すること。</u></p>	<p>(2) <u>コミュニティサイクルは、臨海スポーツゾーンの回遊性の向上等の観点からも有効に活用できることから、その普及に向け、更なる法的規制緩和を図るとともに、競技会場へのサイクルポート設置を検討すること。</u></p> <p>(3) <u>広域的な防災機能の強化のため、競技会場に防災備蓄倉庫や独立型電源の配備、かまどベンチ、マンホールトイレの設置、一時滞在施設機能の付与及び災害用備品の配備等を行うとともに、帰宅困難者対策や備蓄計画等について、区と情報を共有すること。また、災害時における救急医療体制の確立を図り、傷病者の搬送方法のひとつとして、船舶搬送も検討し、昭和大学江東豊洲病院の西側岸壁を整備すること。</u></p> <p>(4) <u>スポーツ振興においては、競技人口が少ない種目に対する選手育成のための競技会場・練習場所の設置及び普及啓発を図るとともに、障害者スポーツの場の充実・強化を図ること。</u></p>

東京都予算に対する要望事項比較表

(オリンピック・パラリンピック推進特別委員会)

平成31年度要望事項	令和2年度要望事項（案）
<p>3 <u>本区のスポーツ振興を踏まえた施設整備等について</u></p> <p>(1) <u>区内における競技会場整備にあたっては、障害者スポーツの拠点としても活用できる、バリアフリー対応の施設とするとともに、広域的な観点から障害者スポーツの場の充実・強化を図ること。</u></p> <p>(2) <u>競技人口が少ない種目に対する選手育成のための競技会場・練習場所の設置及び普及啓発を図ること。</u></p>	